

新潟市立真砂小学校

コミュニティ・スクールだより



(家庭数配付)

令和4年6月発行

第1号

真砂小学校

学校運営協議会

令和4年度より、新潟市ではすべての学校にコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入します。真砂小学校では全市の導入に先駆け、昨年度よりモデル校となり活動を始めました。今年度は2年目となります。これまで積み重ねてきた地域と学校パートナーシップ事業を土台に「学校運営協議会」を設置し「地域とともにある学校づくり」を目指します。今年度も引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

～第1回 学校運営協議会が開催されました～

令和4年5月31日（火）真砂小学校図書室にて

◆学校運営協議会とは

保護者、地域の方々、学校職員など最大15名で構成され、学校運営の基本方針・教育目標・教育ビジョンを共有し、目標の実現に向けて教育活動の点検・評価を行い、活動の充実に向けて協議を行います。

会議のはじめに委員の皆さまには1年生・2年生・3年生の授業を参観していただき、普段の子どもたちの学習の様子を見ていただきました。その後、校長より真砂小学校の基本方針（教育ビジョン）の説明が行われ、全ての協議内容において承認をいただきました。

《令和4年度学校運営協議会委員》

会長	高田 豊	(真砂小学校区コミュニティ協議会 会長)
副会長	漆原 尚	(PTA 会長)
	新田 徹	(真砂地区民生委員児童委員協議会 会長)
	岡村 京吉	(五十嵐中学校区青少年育成協議会 元会長)
	石川 あす香	(元 PTA 副会長)
	結城 彰	(真砂小学校 元校長)
	渡部 久美子	(真砂ひまわりクラブ第1責任者)
	本多 深明	(真行保育園 園長)
	齋藤 佳那子	(ふれあいスクール運営主任)
	三國 義則	(ボランティア代表)
	白杵 健一	(セーフティースタッフ代表)
	渡邊 道子	(真砂小学校 地域教育コーディネーター)
	土田 亮	(真砂小学校 校長)
	風間 弘子	(真砂小学校 教頭)
	清野 真輝	(真砂小学校 地域連携担当教職員 (教務主任))
C S 事務員	藤巻 園子	

(敬称略)

◆今年度の教育ビジョンについて

学校教育目標「心豊かに 共に高まる」

支持的風土の醸成		情報活用能力の育成	
重 点			
目指す資質・能力を育成する 授業の質的な向上	自立を促す生徒指導の推進	多様な学びを保証する 特別支援教育の推進	
他と協働しながら学びを深め、 自らの学習を調整しながら課題 解決を図る子どもの育成	思いやりをもち、支え合い 励まし合う子どもの育成	誰もが学びやすく安心して 参加できる学習環境の整備	
評 価 項 目			
教職員評価・児童評価と2つの面から評価していく			

校長より説明があり、承認されました。



◆地域と学校パートナーシップ活動報告



渡邊コーディネーターより5月までの活動報告と今年度の計画についての説明がありました。

真砂小学校の地域と学校パートナーシップ事業は10年目を迎えました。地域の皆様には継続的にご支援をいただいております。昨年度の活動を基に先生方とも連携を取り、新たな活動に繋がっています。

小学校生活6年間の中で地域の皆さまに温かくサポートしていただいた経験は貴重なものになると思います。子どもたちにも、参加していただいた皆様にも、よかった、楽しかったと思っていただけるよう、ご意見を活かしていきたいと思います。地域の方々への広報活動など課題もあり、工夫をしていきたいと思っています。今年度もよろしくお願いいたします。

◆ふれあいスクールの運営について

今年度は12回の開催予定です。5/14は42名・5/28は58人と多くの子どもたちが参加してくれました。

保護者の方からは、安全が守られている学校で子どもが遊べるということがとても有益だというお話を頂いております。コロナ禍で、遊び道具の制限をしているため物足りないと感じる子どももいると思いますが、楽しかったからまた来ようと思ってもらえるよう、考えていかなければと思っています。子どもたちが健全に遊べる場として、地域の皆様のご協力もいただきながら、今年度も積極的な開催を行っていきます。

